令和6年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開 催 日	令和6年9月24日（火）
場 所	サンラポーむらくも 八雲
出 席 委 員	伊藤委員、梶谷委員、高梨委員、寺本委員、永江委員、増原委員、 三明委員（敬称略、五十音順）
議 題	議長の選任 支部長あいさつ 議題1. 保健事業の状況について 議題2. 健診結果等分析事業について
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	<p>議題1. 保健事業の状況について</p> <p>[保健医療関係者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診機関として、施設を増築したので、今後健診事業に貢献できる。また、健診当日の保健指導についても、集団健診会場で保健指導用の個室がない場合は、健診車内で実施できるよう工夫しており、保健指導についても貢献できると考えている。 <p>[被保険者代表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診当日の指導は、全員が受けられるのか。また、当日保健指導を受けた従業員の把握はできるのか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診機関の人員体制によって、必ずできるとは限らないのが実情であり、今後も当日の保健指導体制の充実を図っていきたい。当日できなかった方については、後日協会けんぽまたは専門業者から事業所へ案内をしており、対象者全員に案内はできている。健診当日に保健指導を受けた方については、事業所への名簿に掲載しておらず、把握は難しい。 <p>[保健医療関係者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県では、高齢者の骨折の医療費が高いと聞いているが、若いうちからの骨粗鬆症検査や食事、運動の生活改善が有効である。 <p>[被保険者代表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の更年期障害はよく耳にするが、男性の更年期障害の対策について状況はいかがなのか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの状況は分からないが、要望があることは把握している。昨年度のメンタルヘルスセミナーで、男性の更年期障害に触れている。また本年度は、メンタルヘルス対策動画をyoutube 配信しており、男性の更年期障害の内容も含まれている。

[被保険者代表]

- ・メンタルヘルス対策動画を視聴したが、管理職向けと個人向けがあり、男性管理職からとても勉強になったという意見があった。

[保健医療関係者]

- ・骨粗鬆症検査について、最近では太陽に当たる時間が少なく骨粗鬆症になる若年者が多い傾向がある。被扶養者のみではあるが、検査項目として追加したことは良い施策である。また高齢になる前の若いうちから骨粗鬆症の健康教育を行うなど対策が必要ではないか。

【事務局】

- ・協会けんぽでは全国的に学生や子供向けに健康教育を行う方針があり、具体的に決まり次第報告させていただく。

議題 2. 健診結果等分析事業について

[保健医療関係者]

- ・病態ごとの医療費について、何が影響しているのか。

【事務局】

- ・地域的なものなのか、環境なのか因果関係は分かっていない。仮説を立てながら今後さらに分析を進めていきたい。

[保健医療関係者]

- ・精神の疲労は、運動の疲労に置きかえられる。精神及び行動の障害の入院外医療費が高く、運動習慣が少ないということなので相関性があるのではないか。

[学識経験者]

- ・年々、10歳代から30歳代の医療費が伸びているが、原因はなにか。

【事務局】

- ・年度の伸びはコロナ等及び呼吸器系が伸びている。

[被保険者代表]

- ・島根支部は新生物（腫瘍）の医療費が高いようだが、原因はわかっているのか。

【事務局】

- ・因果関係は明確ではないが、島根県では乳がん検診・子宮頸がん検診を受ける機会が少なく受診率が低い傾向がある。対策の一つとしてがん検診を受けていただき早期治療につなげることが大切になる。

[学識経験者]

- ・新生物の中分類でその他が多いが、膵臓癌、胆のう癌、前立腺癌などはどうなのか。

【事務局】

- ・今のところ小分類まで集計しきれていない。

[学識経験者]

- ・朝食の欠食が少ないこと、喫煙率が低いことなど良い点も分析していただきたい。

以上